令和 7 年度 年間授業計画 教科 数学 科目 数学A

教科: 数学 科目: 数学A 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年

教科担当者:	A組 福島	B組 薄井	C組 佐合	D組 佐合	E組 加藤雅	F組 薄井	G組 宮本
使用教科書:	数研出版 高等学校 数学A						

教科 数学 の目標:	<p>【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発見的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表現する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
------------	---

科目 数学A の目標:	<p>【知識及び技能】 数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解すること。・数学史的話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについての理解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発見させ考察すること。・パズルなどに数学的な探求を見だし、目的に応じて数学を活用して考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
-------------	--

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 1 第一章 場合の数と確率 【知識及び技能】 基本的な用語や計算方法について理解する。また、場合の数や確率を求めるための基本的な考え方について理解する。 【思考力、判断力、表現力】 様々な場合の数や確率を求めるための考え方を理解し、必要な定理や公式を適用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の過程についても興味を持ち、様々な場合の数や確率に活用しようとする姿勢が見られる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 自分で考えるだけでなく、周囲と協力し、深く学べるよう工夫する。 ・教材 教科書・問題集・プリント ・一人1台端末の活用(場面)	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 用語の意味や使い方を理解している。公式や定理を使用して基本的な計算ができる。 【思考力・判断力・表現力】 新しく学ぶことを既習事項と結びつけることができる。少し複雑な場合の数や確率についても求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 場合の数や確率の単元に関心をもち、考察しようとする。複雑な問題について、振り返って考えたり、挑戦する姿勢が見られる。	○	○	○	11
単元 2 【知識及び技能】 基本的な用語や計算方法について理解する。また、場合の数や確率を求めるための基本的な考え方について理解する。 【思考力、判断力、表現力】 様々な場合の数や確率を求めるための考え方を理解し、必要な定理や公式を適用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の過程についても興味を持ち、様々な場合の数や確率に活用しようとする姿勢が見られる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 自分で考えるだけでなく、周囲と協力し、深く学べるよう工夫する。 ・教材 教科書・問題集・プリント ・一人1台端末の活用(場面)	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 用語の意味や使い方を理解している。公式や定理を使用して基本的な計算ができる。 【思考力・判断力・表現力】 新しく学ぶことを既習事項と結びつけることができる。少し複雑な場合の数や確率についても求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 場合の数や確率の単元に関心をもち、考察しようとする。複雑な問題について、振り返って考えたり、挑戦する姿勢が見られる。				
定期考査(第1学期中間考査)/返却と解説			○	○		1
単元 3 第一章 場合の数と確率 【知識及び技能】 基本的な用語や計算方法について理解する。また、場合の数や確率を求めるための基本的な考え方について理解する。 【思考力、判断力、表現力】 様々な場合の数や確率を求めるための考え方を理解し、必要な定理や公式を適用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の過程についても興味を持ち、様々な場合の数や確率に活用しようとする姿勢が見られる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 自分で考えるだけでなく、周囲と協力し、深く学べるよう工夫する。 ・教材 教科書・問題集・プリント ・一人1台端末の活用(場面)	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 用語の意味や使い方を理解している。公式や定理を使用して基本的な計算ができる。 【思考力・判断力・表現力】 新しく学ぶことを既習事項と結びつけることができる。少し複雑な場合の数や確率についても求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 場合の数や確率の単元に関心をもち、考察しようとする。複雑な問題について、振り返って考えたり、挑戦する姿勢が見られる。	○	○	○	11
単元 4 【知識及び技能】 基本的な用語や計算方法について理解する。また、場合の数や確率を求めるための基本的な考え方について理解する。 【思考力、判断力、表現力】 様々な場合の数や確率を求めるための考え方を理解し、必要な定理や公式を適用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の過程についても興味を持ち、様々な場合の数や確率に活用しようとする姿勢が見られる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 自分で考えるだけでなく、周囲と協力し、深く学べるよう工夫する。 ・教材 教科書・問題集・プリント ・一人1台端末の活用(場面)	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 用語の意味や使い方を理解している。公式や定理を使用して基本的な計算ができる。 【思考力・判断力・表現力】 新しく学ぶことを既習事項と結びつけることができる。少し複雑な場合の数や確率についても求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 場合の数や確率の単元に関心をもち、考察しようとする。複雑な問題について、振り返って考えたり、挑戦する姿勢が見られる。				
定期考査(第1学期期末考査)/返却と解説			○	○		1

令和 7 年度 年間授業計画 教科 数学 科目 数学A

教科: 数学 科目: 数学A 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年

教科担当者:	A組 福島	B組 薄井	C組 佐合	D組 佐合	E組 加藤雅	F組 薄井	G組 宮本
使用教科書:	数研出版 高等学校 数学A						

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発見的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解すること。・数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについての理解を深めること。	・数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発見させ考察すること。・パズルなどに数学的な探求を促し、目的に応じて数学を活用して考察すること。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 5 第一章 場合の数と確率 【知識及び技能】 基本的な用語や計算方法について理解する。また、場合の数や確率を求めるための基本的な考え方について理解する。 【思考力、判断力、表現力】 様々な場合の数や確率を求めるための考え方を理解し、必要な定理や公式を適用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の過程についても興味を持ち、様々な場合の数や確率に活用しようとする姿勢が見られる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 自分で考えるだけでなく、周囲と協力し、深く学べるよう工夫する。 ・教材 教科書・問題集・プリント ・一人1台端末の活用(場面)	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 用語の意味や使い方を理解している。公式や定理を使用して基本的な計算ができる。 【思考力・判断力・表現力】 新しく学ぶことを既習事項と結びつけることができる。少し複雑な場合の数や確率についても求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 場合の数や確率の単元に関心をもち、考察しようとする。複雑な問題について、振り返って考えたり、挑戦する姿勢が見られる。	○	○	○	4
単元 6 第二章 図形の性質 【知識及び技能】 平面図形、空間図形の様々な性質について理解でき、角や辺を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力】 証明を含めて理解し、それを様々な事象の考察や、新たな性質の証明などに活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の過程についても興味を持ち、様々な図形に活用しようとする姿勢が見られる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 自分で考えるだけでなく、周囲と協力し、深く学べるよう工夫する。 ・教材 教科書・問題集・プリント ・一人1台端末の活用(場面)	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 用語の意味や使い方を理解している。性質を利用して基本的な図形の角や辺を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 証明や少し複雑な図形も解くことができる。新しく学ぶことを既習事項と結びつけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 図形の性質に関心をもち、考察しようとする。複雑な問題について、振り返って考えたり、挑戦する姿勢が見られる。	○	○	○	8
定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説			○	○		1
単元 7 第二章 図形の性質 【知識及び技能】 平面図形、空間図形の様々な性質について理解でき、角や辺を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力】 証明を含めて理解し、それを様々な事象の考察や、新たな性質の証明などに活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の過程についても興味を持ち、様々な図形に活用しようとする姿勢が見られる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 自分で考えるだけでなく、周囲と協力し、深く学べるよう工夫する。 ・教材 教科書・問題集・プリント ・一人1台端末の活用(場面)	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 用語の意味や使い方を理解している。性質を利用して基本的な図形の角や辺を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 証明や少し複雑な図形も解くことができる。新しく学ぶことを既習事項と結びつけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 図形の性質に関心をもち、考察しようとする。複雑な問題について、振り返って考えたり、挑戦する姿勢が見られる。	○	○	○	12
単元 8 【知識及び技能】 ・指導事項 【思考力、判断力、表現力】 ・教材 教科書・問題集・プリント 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人1台端末の活用(場面)	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 ・教材 教科書・問題集・プリント ・一人1台端末の活用(場面)	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力、人間性等】	○	○		1
定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説			○	○		1

令和 7 年度

年間授業計画

教科

数学

科目

数学A

教科: 数学

科目: 数学A

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年

教科担当者:	A組 福島	B組 薄井	C組 佐合	D組 佐合	E組 加藤雅	F組 薄井	G組 宮本
使用教科書:	数研出版 高等学校 数学A						

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発見的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解すること。・数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについての理解を深めること。	・数量や図形に関する概念などを、圖に基づいて発展させ考察すること。・パズルなどに数学的な実践を見だし、目的に応じて数学を活用して考察すること。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数								
単元 9 第二章 図形の性質 【知識及び技能】 平面図形、空間図形の様々な性質について理解でき、角や辺を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力】 証明を含めて理解し、それを様々な事象の考察や、新たな性質の証明などに活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の過程についても興味を持ち、様々な図形に活用しようとする姿勢が見られる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 自分で考えるだけでなく、周囲と協力し、深く学べるよう工夫する。 ・教材 教科書・問題集・プリント ・一人1台端末の活用(場面)	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 用語の意味や使い方を理解している。性質を利用して基本的な図形の角や辺を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 証明や少し複雑な図形も解くことができる。新しく学ぶことを既習事項と結びつけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 図形の性質に関心を持ち、考察しようとする。複雑な問題について、振り返って考えたり、挑戦する姿勢が見られる。	○	○	○	5								
			単元 10 第3章 数学と人間の活動 【知識及び技能】 様々な人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深める。 【思考力、判断力、表現力】 現実の事象を数学を用いて考察できるよう力を培う。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の過程についても興味を持ち、様々な人間の活動に活用しようとする姿勢が見られる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 自分で考えるだけでなく、周囲と協力し、深く学べるよう工夫する。 ・教材 教科書・問題集・プリント ・一人1台端末の活用(場面)	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 用語の意味や使い方を理解している。法則性を利用して基本的な整数の問題を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 証明や少し複雑な数の問題も解くことができる。新しく学ぶことを既習事項と結びつけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 数学と人間の活動に関心を持ち、考察しようとする。複雑な問題について、振り返って考えたり、挑戦する姿勢が見られる。		○	○	○	12				
							単元 11 第3章 数学と人間の活動 【知識及び技能】 様々な人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深める。 【思考力、判断力、表現力】 現実の事象を数学を用いて考察できるよう力を培う。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の過程についても興味を持ち、様々な人間の活動に活用しようとする姿勢が見られる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 自分で考えるだけでなく、周囲と協力し、深く学べるよう工夫する。 ・教材 教科書・問題集・プリント ・一人1台端末の活用(場面)	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 用語の意味や使い方を理解している。法則性を利用して基本的な整数の問題を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 証明や少し複雑な整数の問題も解くことができる。新しく学ぶことを既習事項と結びつけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 数学と人間の活動に関心を持ち、考察しようとする。複雑な問題について、振り返って考えたり、挑戦する姿勢が見られる。		○	○	○	2
											単元 12 【知識及び技能】 ・指導事項 【思考力、判断力、表現力】 ・教材 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人1台端末の活用(場面)	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用(場面)	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力、人間性等】	
定期考査(学年末考査)/返却と解説		○				○								